

大崎の子の身なり

大崎小生徒指導部

【学校としての基本的な考え方】

学校は教育の場であるということを前提とし、ファッション的な服ではなく、清潔感があり、動きやすく、学習の場にふさわしい身なりを心がける。

- 登下校と校外学習時は、1年生は、黄色帽子を、2年生から6年生は、赤色帽子を被る。校内活動時は白色帽子を被ります。
- 目にかかる前髪は、ヘアピンで留め、肩にかかる長い髪は、ヘアゴムで束ねます。
- ヘアピン、ヘアゴムは、黒、紺、茶色で、飾りが無いものを使います。
- カチューシャやリボン、リストバンド、ミサンガなど不要なものは身に付けません。
- 頭髪の染色やパーマ・ピアス・マニキュア・眉そりなどはしません。
- スパッツ類は、黒、紺、を基調とした派手でないものを着用します。但し、体育の授業では着用しません。
- 靴は、通学や運動に適した靴を履く。
- 上履き、体育館シューズのラインの色は青を基本とします。(おさがりや転入児童の場合は除く)
- 体育服を私服の下に着ません。
- 体育の授業は体育服とし、シャツはズボンの中に入れます。
- フード付きの上着は、引っかかったり、引っ張られたりするなど、安全上配慮が必要なので、着用はできるだけ控えます。着用する場合は、フードを被りません。
- 袖が手のくるぶしより長い場合は折り曲げ、袖からしっかり手を出します。



夏場の身なりについて

- 暑くても肌着を着用し、肌着の見えない服装を心がけます。ランニングやキャミソール、タンクトップだけで登下校したり、授業を受けたりしません。



冬場の身なりについて

- ベンチコートのように裾の長いものや、ファー付きのものなど、活動の妨げになるような上着は着ません。
- 体育学習の際は、体が温まるまで、運動に適した上着(ジャージやウインドブレーカー、ピステ、トレーナー)を着てもいいです。但し、フード付きのものは、安全上認めません。
- 体育学習の際は、体育服の袖からみえる長袖の下着は着ません。
- 上着を腰に巻きません。
- 手袋や、ネックウォーマーは、12月から2月末までの期間とし、登下校時のみ着用します。
- マフラーや、レッグウォーマーは、着用しません。
- カイロは使用しません。
- リップクリームは使用しません。事情がある場合は担任へ相談します。



儀式的行事(始業式・終業式、修学旅行)や発表会での身なりについて

- 華美でない服装を心がけ、上は襟付きの白のシャツ、下は紺や黒を基調としたものを着用します。
- スカートの長さは膝下になるようにします。
- 気候に合わせて紺や黒を基調としたジャケットを着用してもよいです。
- 気候に合わせて紺や黒のタイツは着用してもよいです。
- 準備の負担が重くなるような袴等の服装はしません。
- 靴下は、白・黒・紺などで華美でないものをはきます。

